

講演内容・講演者：

「CO2削減のための取り組みについて」

山口 賢次郎 氏
(昭和53年修 大林組)

「感性に訴求する建築」

白川 裕信 氏
(昭和55年修 竹中工務店)

「身近になった改修設計」

野中 茂 氏
(昭和62年修 久米設計)

日時：

2009年7月29日（水）15：30～17：00

場所：

東京工業大学 緑ヶ丘講義棟 M011

主催：

2009年度 東京工業大学建築系同窓会 冬夏会主催講演会

参加申込：

メールで下の冬夏会事務局のアドレス (toukakai@arch.titech.ac.jp) にお申し込み下さい。卒業生の方は、「勤務先・卒業年・名前」学生は、「所属学科・専攻・学年(研究室)・名前」を明記して下さい。

環境と建築

サステナブル
アーキテクチャ

サステナブル・ビルディング

時代とともに社会環境は大きく変わり、建築に要求される機能や価値観も変化しています。サステナブル(持続可能な)社会の構築に向けて、自然と人が融和した建築が、個としての空間から都市にいたる広い範囲で求められています。

地域の自然や気候、そして生物多様性にいたる『自然のシステム』においては、自然と交歓し、自然を再生する建築の実現が望まれ、社会や経済、文化といった『人のシステム』においては、新しいライフスタイルを生み出し、感性や創造性を誘発する建築の創出が望まれています。

そのために、革新的な環境負荷(エネルギー・カーボン)低減技術の開発や導入に加え、資源循環型の建築生産システムや、ストック建物の有効活用を積極的に推進していくことが「時代の要求」となっています。



sustainable

sustainable

architecture